

信州松本市・四賀



クラインガルテンだより

■発行／松本市指定管理者 四賀むらづくり株式会社 〒399-7404 長野県松本市取出481-1 TEL.0263-64-4447 FAX.0263-88-4447 4月1日 ■印刷／株式会社プラット

2018 春号 Vol.32



春
です！

坊主山クラインガルテンから北アルプスを望む

信州の
味な
はなし

蕎麦すいとん

信州といえば「お蕎麦」。家庭によってはご覧の「蕎麦すいとん」なる物を食す人たちがいます。なぜ小麦粉でなく蕎麦粉を使うのか？それはただ食してさっぱりするという理由だけのことですが、ちょっと興味が湧いた方は、お試しを！



四賀の里にも、福寿草まつりを皮切りに本格的な春がやってきました。

今冬はいつになく寒さが身に染みる期間の連続でしたが、3月中旬から一気に暖かくなってきました！

このところ数年は気候が安定しませんが、今年こそ作物が順調にすくすく育ってほしいと願います。ガルテナーの皆さんには、もう作付けに思いを巡らせて畑が待ち遠しいことでしょう。賑わいの季節到来ですよ。



米粉で練つて ものづくり!

正月の風物詩としてよく「ものづくり」が紹介されますね。今年も正月6日(土)に各地域の公民館などで、大勢が集まって四苦八苦しながら、繭玉や野菜の形を米粉で作り上げました。興味津々の

ガルテナーさん達も参加して、見事に仕上げたものを柳の木の枝に挿し、翌日の三九郎(どんど焼き)に備えました。五穀豊穣と無病息災を祈念するもので



か!
行事にも参加して交流の輪を広げています。皆さんも気軽に出かけみません

地域で交流の輪 育む



四賀クリンガルテンでは、開園祭など三大イベントの他にも、沢山の行事があります。田舎の親戚や地域の人たちとの交流、そして学校行事への参加も楽しみのうちです。



ガルテナー同士が近隣の畑を借りて蕎麦や小麦を播種から脱穀まで手掛けるグループもあり、にぎやかな作業で田舎暮らしをとても楽しんでいます。収穫した蕎麦粉でお互いに手打ちの妙技を競い、色々な人が大勢集つて『大そば会』になります。また地域住民の人たちとの交流会も公民館などで行わ

郷土の小鳥たち



撮りためた緑ヶ丘周辺の小鳥写真額群



赤怒田福寿草公園 ● 3月10日(土)
今年も松本市四賀福寿草まつり2018が開催されました。前夜はなごり雪に見舞われましたが、元気よく四賀小学校金管バンドの行進で幕を開け、続いて虚空蔵太鼓とアルプホルンが演奏されました。ドーム内では赤怒田町会の皆さんによる豚汁と卵かけご飯の無料サービスがあり、肌寒い気候にもかかわらず大勢の人々でにぎわいました。

四賀

ガルテン歳時記

「送る言葉」で卒業式があり、それぞれの区切りと新たな門出があります。四月になると入学式や入社式など、夢のある時節がやってきます。四賀の里もこれから梅や桃、桜が咲き、保育園や小中学校からはにぎやかな子どもたちの声が飛び交います。春らんまんはもうすぐですね!

一開墾した土地にツリーハウス! 夫婦で「信州百名山」にも挑戦中

緑ヶ丘クライングアルテン 333号

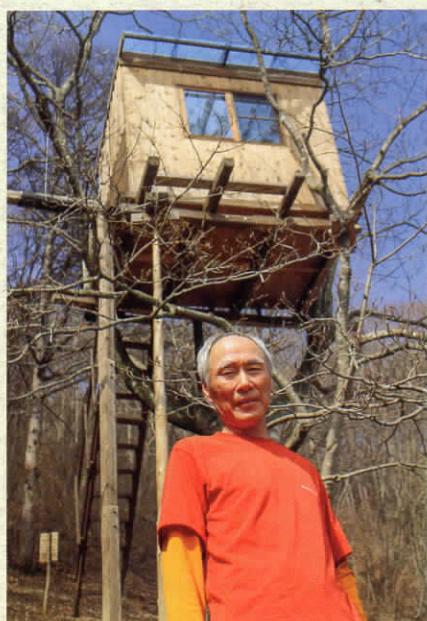
加藤 実さん(68)・光代さん(65)

四賀ガルテナーの楽しみ
ガルテンで何してん!?

登山が20年来の趣味
という加藤さんご夫
妻。信州の山を訪れる
ことも多く、退職後は
信州への移住を考える

ようになつたそうです。ある時、
常念岳で強風に遭い、途中で下山
することになつたおふたり。そこ
で以前から関心があつた四賀のク
ラインガルテンを訪ね、その足で
虚空蔵山に登りました。「山中、北
アルプスの端から端まで見渡せる
場所を見つけてね。その素晴らしい
景色には感激しましたよ」と実さ
ん。この出来事が、クライングアル
テンへ入園するきっかけになつた
そうです。

2014年春から始まつた、

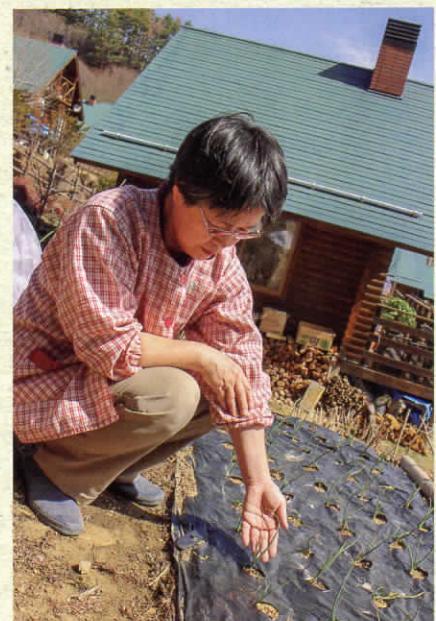


緑ヶ丘クライングアルテ
ンでの暮らし。愛知県
にある白木には月に1
週間ほど帰るだけで、
生活の拠点をこちらに
移しました。石の通路
や柵を配した庭づくり
を手始めに、周囲に残
されていた荒れ地の開
墾にも取り掛かつた実

農作業の合間に休憩できるテラ
スや、自然養蜂のための蜂の巣箱、
裏山に建てたツリーハウス—。
すべて手作りで、年々ここでの暮
らしを進化させてきました。「こ

は、とにかく自由。やってみたいこ
とが実現できるから楽しいです」
と、口を揃えて語るおふたりです。
「ここは『男の天国』とも話す、
光代さん。「そば会」「赤ちょううち
の会」といったガルテナーの集
まりがあり、地元では近所付き合
いが苦手だった男性も、自然と仲
間の輪の中に入つていけるそうで
す。「全国各地から集まるガルテ
ナーは、技術や経験、知恵を備え
た方ばかりだから、集まりも刺激的
で面白い。それぞれの持ち味を
生かして協力し合える、心地良い
関係です」。

「今年はピザ窯を作るかな」と
言う実さんに、「たくさん山に登ろ
う」と光代さん。「ここでの自由な
暮らしは、やりたいことが尽きな
いと目を輝かせます。



さん。「孫に手伝つて
もらい、3年がかりで
畑に部屋の窓から一
番よく見える場所だか
ら、力が入りました
よ」と、当時を振り返
ります。今では季節の
野菜が実る立派な菜園
になり、おふたりは草
とりや水くれ、収穫に
大忙し。「登山三昧の生活を送る
はずだったんですけどねえ」。そ
う苦笑しながらも、光代さんは四
季の花が次々と咲き誇る庭を愛お
しそうに眺めます。

「ここは『男の天国』とも話す、
光代さん。「そば会」「赤ちょううち
の会」といったガルテナーの集
まりがあり、地元では近所付き合
いが苦手だった男性も、自然と仲
間の輪の中に入つていけるそうで
す。「全国各地から集まるガルテ
ナーは、技術や経験、知恵を備え
た方ばかりだから、集まりも刺激的
で面白い。それぞれの持ち味を
生かして協力し合える、心地良い
関係です」。

「今年はピザ窯を作るかな」と
言う実さんに、「たくさん山に登ろ
う」と光代さん。「ここでの自由な
暮らしは、やりたいことが尽きな
いと目を輝かせます。



行って
みよう!

クラインガルテンを拠点に出かけるイベント案内

Event information

※イベントは、発表時より変更されている場合があります。事前にご確認ください。

第19回国宝松本城「夜桜会」

開催日 4月上旬～中旬 PM5:30～9:00(松本城管理事務所による開花宣言の3日後から8日間)
ところ 松本市 国宝松本城本丸庭園
お問い合わせ 松本城管理事務所 ☎0263-32-2902

本丸庭園を無料開放する恒例の夜桜会。フルートや雅楽の演奏などのほか、お茶会、花見団子の屋台などが賑わいを添える。また、お城を囲む桜並木をライトアップする「国宝松本城 桜並木光の回廊」も同時開催。光の回廊は同事務所の開花宣言から10日間。地元の実行委員会の主催。

白馬五竜かたくり祭り

開催日 4月28日(土)AM10:30～
ところ 白馬村 白馬五竜かたくり苑
お問い合わせ 五竜 ☎0261-75-2101

土にしつかり根を張るカタクリは種子から開花まで5～7年といわれる。同かたくり苑はギフチョウやヒメギフチョウの生息地でもあり、花との競演が見られる。イベントではオカリナやホルンの演奏のほか、山菜天ぷら、五竜鍋の出店も。見頃は4月下旬～5月上旬。

豊科近代美術館 バラ祭り

開催日 5月26日(土)～6月3日(日)
ところ 安曇野市 豊科近代美術館
お問い合わせ 同美術館 ☎0263-73-5638

ロマネスク風の建物を彩る庭園には約500種1000本のバラが植栽されており、5月下旬から6月中旬に見頃を迎える。種類も色彩も豊かなローズガーデンで甘い香りを楽しんで。バラ苗や山野草の販売、友の会のバラの作品展、コンサート、バラの手入れ講習会などを開催。

信州まつもと大歌舞伎 市民イベント

開催日 6月8日(金)～18日(月)
ところ 松本市 国宝松本城(ほか)
お問い合わせ まつもと歌舞伎実行委員会 ☎0263-34-3293(平日AM9:00～PM5:00)

6月12日(火)から、まつもと市民芸術館で開催する「信州まつもと大歌舞伎」に合わせて市内でイベントを開催。10日(日)AM11:00からは、歌舞伎役者の登城行列のほか、本丸庭園では広島県無形民俗文化財指定「桑田天使神楽団」による「八岐大蛇」のダイジェスト版を披露。芸術館内ではオリジナルグッズを販売。

篠田桃紅 とどめ得ぬもの 墨のいろ 心のかたち展

開催日 4月21日(土)～7月22日(日)まで(火曜休館)
ところ 上田市 サントミューゼ上田市立美術館
お問い合わせ 同美術館 ☎0268-27-2300

100歳を超え、今も現役で新たな作品に挑む美術家。1956年に渡米し世界の最先端のアートに触れ水墨抽象画という独自の表現を確立。書道から発展した初期の作品から、現在までの変遷をたどる約90点を展示。観覧料は一般1200円、高校大学生800円、小中学生400円。

「私が、もういちど、生まれ変わる日。」

開催日 4月15日(日)PM3:00(開場2:30)
ところ 松本市音楽文化ホール(ザ・ハーモニーホール)
お問い合わせ 同ホール ☎0263-47-2004

ザ・ハーモニーホールのオルガン設置30周年を記念して委嘱した新作初演コンサート。専属オルガニスト・原田靖子さんをはじめ、カウンター・テナー・望月裕央さん、中信合唱連盟加盟団体の混声合唱団、SK松本ジュニア合唱団が披露。指揮は中村雅夫さん。チケットは一般2000円、大学生以下無料。

第39回塩の道まつり

開催日・ところ 5月3日(木・祝)小谷村、4日(金・祝)白馬村、5日(土・祝)大町市
お問い合わせ 小谷村観光連盟 ☎0261-82-2233、
白馬村観光局 ☎0261-72-7100、大町市観光協会 ☎0261-22-0190

日本海から信州に塩が運ばれたとされる塩の道を歩く恒例のイベント。小谷村・千国越えコースは約9km、白馬村の落倉自然園コースは約9km、大町市の湖畔道中は約10.5km。

いけだまちひろつカミツレ花まつり

開催日 6月2日(土)、3日(日)
ところ 池田町広津 カミツレの里(カミツレ研究所本社・八寿恵荘)
お問い合わせ カミツレ研究所 ☎0261-62-9119

カミツレとはカモミールの和名。一面に広がる満開のカモミール畑での刈り取り体験やカミツレ商品の販売、地元特産品のマルシェのほか、シンガーソングライターYaeさんのコンサート、丸太早切り大会などを開催。カミツレエキス濃厚な「華密恋の湯」の入浴もある。

友好姉妹都市「第30回相差天王くじら祭」

開催日 7月14日(土)～15日(日)
ところ 三重県鳥羽市相差町 相差漁港
お問い合わせ 松本市四賀観光協会 ☎0263-64-4447

海女の町・三重県鳥羽市相差町で全町民が一体となって開く海上安全・大漁満足の祈願祭。伊勢志摩南鳥羽に夏の到来を告げる祭りとして平成元年から30年にわたり発展してきたもの。パレードを皮切りに地元の老若男女による多彩な催しと海面に映える夜の花火大会が圧巻である。四賀地区では平成3年から友好姉妹都市の交流を続けている。

市制施行110周年記念 企画展「松本民芸館名品展」

開催日 7月22日(日)まで(月曜休館)
ところ 松本市 松本民芸館
お問い合わせ 同館 ☎0263-33-1569

無名の職人がつくる日用品に美を見出した丸山太郎は「美しいものが美しい」という独自の審美眼で、多くの作品を集めた。6800点にも上る中から同民芸館の名品を展示。入館料は大人300円、中学生以下無料。5月1日は市制施行記念日のため無料開放(※6月に空調設備工事のため休館の予定あり。要問い合わせ)